

豊平区ネットワーク会議

ニュース

2015年
(平成27年)
11月発行
第1号

平成27年度の 全体会議を開催

11月5日(木)14時から、豊平区民センターで豊平区ネットワーク会議(末廣仁志(すえひろ・ひとし)議長)が開催され、地域住民や各団体など約70人が参加し、区役所が地域と協働で進める取組などについて協議しました。

豊平区ネットワーク会議は、地域住民と行政などの関係機関との連携と協働に

より、安全で安心な住みよいまちづくりを進めることを目的に平成23年3月に設置されたもので、豊平区の区民協議会として位置付けられています。



挨拶する三井一敏 豊平区長

まちづくりの新しい事業 テーマは『おもてなし』

会議の冒頭、三井一敏(みつい・かずとし)豊平区長は、「豊平区にある札



構成団体や区関係者ら約70人が出席

幌ドームなどの大規模なスポーツ施設が、今後冬季アジア大会、ラグビーワールドカップ、さらにその先の冬季オリンピック・パラリンピックの主会場地となることが予想されており、豊平区を好きになってもらい、もてなす豊平区民にとっても生きがいとなり、まちの活性化につながるよう『おもてなし』事業の取組を推進していきたい」と、今後、区役所が進めていく事業への思いを力強く語りました。

豊平区のまちづくりについての情報をお届けします



会場の様子

続いて、担当課から、地域と区役所が協働で進めていく新たな事業として、「(仮称)とよひらまちづくりパートナー事業」と「(仮称)TOYOHIRA『おもてなし特区』推進事業」の説明がありました。これから二つの事業は、現在札幌市が策定作業を進めている中期実施計画「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」(計画期間：平成27年度～平成31年度)にも、豊平区の新規事業として掲載される予定です。

おもてなしの取組を進めるに当たり、ネットワーク会議の組織の中に「おもてなし部会」を新設し、その下に、幅広く柔軟な人選で若者を中心としたワーキンググループを立ち上げることで事務局から提案され、承認されました。

そのほか、防災関連事業や札幌市要配慮者避難支援の取組についての説明があり、出席者はじっくりと真剣な表情で説明を聞いていました。

【キーワード】 豊平区ネットワーク会議

地域住民と行政などの関係機関との連携と協働により、安全で安心な住みよいまちづくりを進めることを目的に平成23年に設置されたもの。豊平区の区民協議会として位置付けられています。(区民協議会とは、区における課題や特性を踏まえたまちづくりを実践するための組織。各地区町内会連合会をはじめ区内の多様な団体が構成されており、札幌市内の10区全てにおいて設置されています。)

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」

(H27年12月頃策定予定/計画期間：H27～H31年度)

における豊平区の政策的事業

(仮称) TOYOHIRA「おもてなし特区」推進事業 (新規事業)

冬季オリンピック・パラリンピックの招致を見据え、地域の機運の醸成と活性化を図るため、豊平区を来訪する方々(「来豊者」)に対し、地域・企業・商店街等と連携して、さまざまなおもてなしの取組を展開します。

(仮称) とよひら まちづくりパートナー事業 (新規事業)

地域のまちづくりに参加・協力したい企業・学校・各種団体を「まちづくりパートナー」として登録し、さまざまな地域の活動につなげていくことを通じて、多様な担い手によるまちづくりを進める機運醸成を図ります。

とよひらスポーツ応援プロジェクト事業

札幌ドームをはじめ多数の国際規模のスポーツ施設があり、プロスポーツチームの本拠地でもある区の資源を最大限に活用し、区民がスポーツに親しむきっかけとなる場を提供します。

発行 豊平区ネットワーク会議事務局 (豊平区市民部総務企画課)

〒062-8612 豊平区平岸6条10丁目 電話 011-822-2405 FAX 011-813-6585